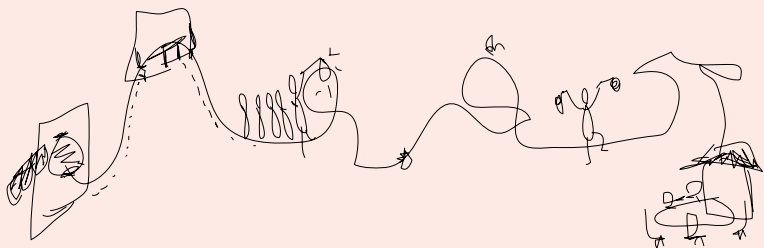


5 谷中妄想カフェ



妄想でつなぐ
まちの心根



谷中妄想カフェとは

提灯を片手に、妄想ナビゲーターに導かれて夜のまちを散歩する。提灯の灯りにゆらめく夜のまちの姿は、昼とはまた違った趣を感じさせ、時折すれ違う不思議なパフォーマーや、ホントか嘘か分からないナビゲーターのまち案内が参加者の妄想を引き出していく。

谷中妄想カフェの魅力

①提灯

カフェで妄想ナビゲーターに出会うと、1人1人に提灯が配られ、ロウソクに灯がともされる。提灯を片手に夜のまちへ繰り出していくと、遠くに見える提灯の明かりが不自然に跳んだりはねたりする。細い路地に入ると提灯はさらに色づき、草花や虫たちとの出会いを幻想的に映し出す。提灯の明かりに妄想が揺らめいて、ここがどこなのか分からなくなる。

②妄想ナビゲーター

ナビゲーターにはいろいろなタイプの人がいる。積極的に話しかける人、あえて何も語らない人、谷中のまちに関するウンチクを語る人……。妄想ナビゲーターは、それぞれがベストだと考える世界観へ参加者をいざなう。その個性的な出で立ちや振る舞いは妄想カフェで最もユニークな役割であり、提灯に次ぐ第二の主役である。

③かくれパフォーマー

かくれパフォーマーは散歩の道中に見かける、パフォーマーのこと。あたかも谷中の住人かのように振る舞いながら通りすぎる人や提灯を持って犬の散歩をする人、井戸で何かを洗う人……(?)など、妄想をかき立てるような人が隠れている。

④楽屋

楽屋は妄想ナビゲーターやパフォーマー、スタッフやまちの人が気軽に立ち寄れる場所になっている。妄想ナビゲーターやパフォーマーに挑戦するまちの人たちと一緒に、振る舞い方や案内の仕方などについてお互いにアイデアを出し合える情報交換の場となっている。また、まちの人からの差し入れやスタッフの作るおにぎりが皆の緊張を和らげる。お客さんとして参加した人が楽屋を訪れ、1週間後には妄想ナビゲーターやパフォーマーとして出演していることも稀ではない。



レ
シ
ピ

谷中妄想カフェ

串バーベキュー型

料理が下手な君も主役だ

必要なもの

<p>◆場所</p> <p>①散歩道 提灯を片手に持って、安全に歩ける場所。</p> <p>②最終地点 記念撮影をし、お茶を飲んで一休みしながらお客さんたちが語り合える場所</p> <p>③楽屋 提灯などの道具が置いて、みんなが気軽に話し合える広さの場所</p> <hr/> <p>◆人</p> <p>①妄想ナビゲーター ②お客さん(1回4名定員) ③運営スタッフ ④受付スタッフ1人以上 ⑤かくれパフォーマー3人以上 ⑥楽屋兼パフォーマー担当スタッフ1人</p> <hr/> <p>◆道具</p> <p>◇妄想ナビゲーター用</p> <p>①提灯(ロウソク) ②虫除けスプレー ③飴(散歩の途中で配る) ④水(火消し用)</p> <hr/> <p>◇かくれパフォーマー用</p> <p>①提灯(ロウソク) ②虫除けスプレー</p>	<p>③携帯電話(連絡用)</p> <hr/> <p>◇受付道具</p> <p>①チケット、おつり ②予約表 ③看板 ④筆記用具 ⑤注意事項</p> <hr/> <p>◇楽屋道具</p> <p>①おにぎり ②お茶 ③自転車 ④リヤカー ⑤雨具(傘・提灯に被せるビニール)</p> <hr/> <p>◇最終地点</p> <p>①提灯(ロウソク) ②虫除けスプレー ③お茶 ④妄想茶菓子(何の味が分からない、ゼリーや提灯の形をした似顔絵入りクッキーなど) ⑤妄想ナビゲーターからの手紙(解散してから1人で読む) ⑥記念撮影用カメラ</p>
---	---

つくりかた

<p>◆プロセス</p> <p>①仲間を集める ②ルートを決める ③役割・設えを決める ④広報する ⑤物品を準備する ⑥開催当日</p> <hr/> <p>◆当日の流れ</p> <p>①物品の最終確認をする ②楽屋、受付の設営をする ③かくれパフォーマーのリハーサル ④妄想ナビゲータースタンバイ ⑤受付開始 ⑥散歩出発(楽屋に連絡) ⑦かくれパフォーマーに合図出し ⑧終了後、反省会・片付け</p> <hr/> <p>◆本番後</p> <p>①ルート周りのお世話になった方へのお礼 ②お客さんに記念撮影写真をメールする</p>	<p>当日のポイント</p> <p>◇マネジメントスタッフ</p> <p>①かくれパフォーマーがずっと外で待機しているため、時々様子を見に行ったり差し入れを持って行くこと</p> <hr/> <p>◇妄想ナビゲーター</p> <p>①妄想ナビゲーターをする人自身が面白いと思っているスタンスに忠実に振る舞うと良い ②お客さんの安全と道中の時間配分を気にかける</p> <hr/> <p>◇かくれパフォーマー</p> <p>①まちの中の光(街灯や月明かりなど)を見て、場所を選ぶと良い ②流れ星が降るのを待ったり、提灯で虫を探したり、わざとらしい踊りをするのではなく、なにかの行為や作業に集中しておこなう方がお客さんの妄想を引き出しやすい</p>
---	---

